



指導をする渡辺監督（写真中央）



自然豊かな里山、適度な緩急の地形を活かして
「健康づくりのまち・鳩山」を

箱根駅伝選手と一緒に鳩山を走ろう！

駅伝レボリューション2013



町梅沢運動場（鳩ヶ丘）で2月3日（日）、早稲田大学競走部 渡辺康幸駅伝監督と競走部員6人をお招きして「駅伝レボリューション2013」が開催されました。今回、鳩山町の自然豊かな里山や適度な緩急ある地形を活かし、健康増進の一環として幅の広い年齢層へランニングの普及を目的に開催。約250人の参加者は、レベルごとに3つのグループに分かれ、渡辺監督や大学陸上界トップレベルで活躍する競走部員から、基礎トレーニングの指導などを受け、さわやかな汗を流していました。トレーニング後には渡辺監督の講演が行われ、「睡眠、食事など自己管理が出来ない」と一流選手になれない、「前向きな気持ちが大敵」など、競技者として、また指導者としての自らのエピソードを交えながら熱い思いを語っていただき、参加者は熱心に聞き入っていました。



齋藤 友樹くん

みんなで鬼ごっこをしたり、リレーをしたり楽しかったです。



鈴木 千鶴さん

走る姿勢や練習方法で気をつけるところなど、細かいところまで指導してもらえてよかったです。



松本 拓也さん

今日のようなイベントをこれからも開催してもらい、マラソン競技人口の裾野を広げてもらいたいです。



根岸 純さん

社会人になってから、普段あまりやる事がなかった基礎トレーニングの大切さを、再認識することが出来ました。



(鳩山中)



(鳩山中)



(鳩山小)

地域農業への関心と、学校給食への理解を深め
乳幼児期・青少年期の食事の基礎づくりを



(今宿小)



(今宿小)



(鳩山小)



ぼくが わたしが考えたレシピが給食に

はとっ子給食レシピ

町保健センターが、乳幼児期・青少年期の食事の基礎づくりを推進する一環として実施した、子どもの食育を考えるプロジェクト「はとっ子給食レシピコンテスト2012」の最優秀作品等が町給食センターの協力のもと、学校給食として採用されました。

今回、採用されたのは、給食でこれが食べたい！部門で最優秀賞に輝いた、小峰 彬人さんの「BKPいため」(1月31日)、地産地消部門で最優秀賞に輝いた窪田 未希さんの「鳩山大豆とさつまいものカリカリ揚げ」(2月19日)、優秀賞に輝いた森田 七海さんの「ポテトミックス」(1月24日)です。BKPのためを食べた生徒は「食材の組み合わせが良い」(鳩山中学校)、ポテトミックスを食べた児童は「カレー味だったのでもあり食べられた」(鳩山小学校)、鳩山大豆とさつまいものカリカリ揚げを食べた児童は「豆が苦手だけどこれなら食べられる」(今宿小学校)と話していました。3月にも作品が採用される予定です。



こみね あきひと
小峰 彬人さん
(鳩山中)

給食として出された日は、残念ながらインフルエンザで欠席となってしまいましたが、登校して、みんなが「おいしかった」といってくれたのでうれしかったです。



もりた ななみ
森田 七海さん
(鳩山小)

みんなが「おいしい」といってくれたのでうれしかったです。また給食レシピの募集があれば、みんなが喜んでもらえるように、いろいろ考えて応募したいです。